

和歌山のメリット

LEE YOORYOUNG

交換留学生 韓国

和歌山に来て二カ月が経ち、韓国に帰るべき日まで、二ヶ月余りとなった。むやみに来た交換学生だったため、最初は広くて果てしない一学期なんじゃないのかと思ったけど、もう半ばも過ぎたのを見れば、「一学期はとても短い時間だね」という考えに不満を感じたりする。韓国の実家と近いですので、たびたび来た大阪を思って和歌山に着いたので、それだけ驚いたことも多くて感じることも多かった。それで今回の作文コンクールを機に和歌山にきて私が直接みて思ったことについて書いてみようと思う



まず、初めて和歌山にきた時びっくりしたのは雨がとてもよく降るということだった。私が住んでいた韓国の金海(キムヘ)という所は一ヶ月に一度や二度あるかないかというほど雨が降らない地域であり、和歌山の雨を聞くたびに驚いた。しかし、二カ月が過ぎた今、雨が降った時だけ感じられる土の匂い、草の匂いに慣れ、雨が降る時だけ感じられる和歌山特有の、日本の感性に触れられる距離のおかげで、雨の日の風景を好きになった。多分韓国に帰っても和歌山の雨の日を思い出すかな？



そして、結構びっくりしたのは交通が思ったよりべんりではないということだ。寮から学校に行く直行のバスがないだけでなく、バスと電車に乗って乗り換えをしても学校までたくさん歩かなければならなかった。最初は毎日長い距離を通学するのが容易ではなかった。私が住んでいるところである金海という地域もまた交通の便が良いというわけではなかったが、私が通う大学のあるデグという地域は交通機関が大変整っているためか、和歌山の交通に慣れることは容易ではなかった。しかし、一日に二時間程度を外の風景を見て歌も聞きながら一人で考える

時間を持つようになったという気持ちで、今はこのことも良い機会だと考えている。一日を始めて終了する時間に余裕を感じながら私だけの時間を費やしているところが日本のバスと電車とは！すごい！そして、交通の便が良くないためか、和歌山人たちは自転車によく乗っている。韓国では自転車に乗ることがあまりないが、これに対し日本では、ほとんどの人たちが自転車に乗るため、私も自転車に乗りたいと思った。韓国では何度試みても

絶対乗れるようにならなかった自転車が、日本ではたった一日で乗れるようになった。それだけ切実だったためなのだろうか？和歌山の交通の特性のため得た貴重な経験だと思う。



最後に、和歌山で最も驚き、最も嬉しかったことは、和歌山の人たちの親切さとやさしさだ。和歌山の特性上、外国人、特に韓国人があまりいない。なかなか慣れないでいる時に接してくれた和歌山大学の友達のおかげで、今の私があるのだと確信している。外国人なので先に近づいてくれることも簡単ではなかったはずなのに、韓国を好きと言って接してくれた数人の日本人友達のおかげだ。基本的な日常会話すらできなかった私が、まだ十分にはできないけれど、昔より確実に上達し、日本人の友達と自信を持って話せるようになったのも、他国でこれほど長

く生活するのが初めてであるにもかかわらず、これほどうまく適応できたのも、彼らのおかげだ。最近、ふと思うことは「私も韓国の大学で外国人の友達に、こんなに親切にしてあげよう」だった。外国人交換学生の友達を見ても何の関心もなかった私を振り返るようになった。和歌山大学の友達の親切さのおかげで、嬉しさと共に過ぎた日々を反省する契機にもなったのだ。先に近付いてきてくれて、温かく接することに、これほど大きく感動させられたこともこれまでなかった。

和歌山の様々な長所のおかげで、半年の交換学生が終わった後も何度ももう一度来たい所がないかと考えている。静かだが、癒しである地域は、まさに「和歌山」だと思う。